



徳山大学広報

# 学園台の風

第 58 号

平成 21 年 11 月 15 日 発行

## 学生生活のいま

経済学部ビジネス戦略学科

スポーツマネジメントコース 3 年

中村 慎哉 さん (硬式野球部主将)

(高川学園高等学校出身)

自分が主将となって初めてのリーグ戦で優勝することができました。春に続いての全国大会の出場に選手一丸となって、一つでも上を狙っています。



発行 徳山大学  
撮影・編集 中村道陽  
山口県周南市学園台  
TEL 0834-28-0411 (代)



## 徳山大学マンガコンテスト授賞式開催 全国から多くの作品寄せられる

第6回弘兼憲史徳山大学マンガコンテストの授賞式が11月8日徳山大学本館にて行われました。今年のテーマは「初恋」でした。関東から九州まで昨年度より広い範囲からの応募があり、マンガ・イラスト58作品が寄せられました。厳正な審査の結果、7作品が入賞しました。

優秀作品賞を受賞した弘中みゆきさんの作品（マンガ）は、学園生活の日常をテーマに初恋をテーマ描いたものですが、審査員から画力、ストーリー構成とも非常に素晴らしいしていると、全員一致で高い評価を得ました。このほかの入賞作品についても、年々高いレベルになっていると評価を受けました。なお、入賞作品については、近日中に大学ホームページにて公開の予定です。



写真上

授賞式にて

写真下

式後和やかな  
懇談会



優秀作品賞を受賞した弘中さんの  
作品の1ページより

### 第6回弘兼憲史徳山大学マンガコンテスト 入賞者 一覧

**優秀作品賞**「運命の赤い糸は・・・」

弘中みゆき（山口県立岩国総合高等学校3年）

**弘兼憲史特別賞**「最初で最後の初恋」

渋谷 翔美（大分県立鶴崎工業高等学校2年）

**Y A B特別奨励賞**「幼く淡い想い」

石本 梨紗（高知県立岡豊高等学校1年）

**入選**「せんせいとぼく。」 泉 那有（真颯館高等学校3年）

「青春」内藤詩歩（広島県立日彰館高等学校3年）

「初恋」野田詩織（九州産業大学付属九州高等学校1年）

**なかはらかぜ特別賞**「君色に染まりたい」

白松聡美（山口県立山口高等学校徳佐分校2年）

## 徳山大学地域貢献研究 中間報告会開催される

地域貢献研究」は、徳山大学の持つ研究機能を積極的に活用することで、周南地域をはじめとする近隣地域の課題解決やビジョン策定に貢献しようという事業です。その中間報告会が、11月8日（日）に開催されました。本学教職員のほか、周南地域の行政、企業、NPO、教育機関など約30名の参加を得て、今年度の採択プロジェクト4件について、研究の途中経過が報告されました。周南市鹿野地区における福祉観光の推進可能性を検討する井手口准教授（福祉情報学部）は、ハードだけでなく心のバリアフリーを進めることが重要だと指摘しました。また、周南市大津島のヨモギ活用策を検討する白井教授（経済学部）はソースへの加工を提案しました。周南地域の地価分析を分析する古谷准教授（経済学部）は株価との比較を通じた分析を紹介し、周防大島における地域アイデンティティについて検討する和田講師（経済学部）は、来年2月に学生と一緒に島内ヒアリングを行う予定であると報告しました。



今後この成果は、来年度発行の徳山大学総合研究所『紀要』に掲載される予定です。



◆誰でも参加ゲーム大会

ポプランピック 09

卒業生による流暢な進行は、現役の学生さんにも刺激になったのでは…。



◆新鮮野菜市・バザー

記念館内会場で、野菜・海産物などの地元産品などのバザーが行われました。



◆ラジオ生放送

地元のコミュニティ局であるしゅうなんFM「ほっとぶれいくサタデー」の生放送が、大学記念館から行われました。

◆弁論大会

外国人による日本語弁論大会には10名の方が登壇され、それぞれの思いを、話してくれました。今年も、外国人ならではの視点に、大いにうなずかされた場面も多くみられました。



第39回ポプラ祭が11月7日8日開催されました。今年は、1日目のメイン企画を校友会がサポートし、ラジオの生放送や、吹奏楽団OB・OGによる演奏会など行われました。また、2日目は介護福祉に関する講演会や、11回目を迎えた恒例行事、外国人による日本語弁論大会、ゼミや有志による模擬店・展示なども行われ、地域からも多くの来場者を迎え、賑やかな2日間となりました。



フォトアルバムポプラ祭



◆吹奏楽団OB・OG演奏会

ポップスを中心に5曲を演奏、この日のために8月から準備を重ね、全国から卒業生が集まりました。素晴らしい演奏に、惜しめない拍手が送られていました。



◆講演会 車いすダンサー みつ&ようべア

介護福祉に関する講演会が「車いすダンサーが語る介護の世界～介護をめざすあなたへ～」と題して行われました。講師のみつさん(光照さん)は、車いす利用者でありながら、日本で初めての介護タクシーを自ら運転し経営される方であり、また車いすダンサーとして、配偶者のようさん(陽子さん)とともに活動され、多数の大会で入賞されています。ここに至るまでの壮絶な道のりを、おふたりで話され、会場は感動の渦に包まれました。講演の最初にラテンで2曲、最後にはスタンダードで2曲ダンスが披露され、息のあった二人のダンスに参加者一同惹きこまれました。



◆体育館内企画

体育館内では、周防大島出身のマウンテンマウスのライブやアニメソングを歌い世界公演も行う、影山ヒロノブのライブ、また楽しいゲーム企画など行われました。



# 硬式野球部春秋連覇

## 明治神宮野球大会へ出場

中国六大学野球秋季リーグ最終戦は吉備国際大学と優勝を決める戦いとなりました。1勝すれば優勝の吉備国際大に対して、2連勝のみ条件の本学は、1戦目を8-4で快勝し、2戦目を4-1で逆転し勝利をおさめ、苦しい戦い連続の中、優勝を手に入れました。この結果、平成4年以來の、春秋連覇となりました。また、このあと10月24日に行われた代表決定戦では、



写真下 試合後、本塁打を打ったボールを母親に渡す中武君。



優勝の喜びにわくナイン（倉敷マスカット球場にて）

これだけの集中力をなぜ持続できるのだろうかと思いましたが、本学チームは秋季の初戦、環太平洋大学にまさかの2連敗を喫しました。このあと、優勝するためには、1敗もできない訓練の戦いが始まりました。その後の試合も、決して楽なものではなかったですが、結果として、優勝を手に入れました。これも、一戦一戦を大切に戦うという監督の姿勢に、選手が呼応し、この結果を得たのではないかと思われます。その集中力の要は中武・岸村の4年生コンビではないでしょうか。優勝を決めた試

広島大学を10-3で、また四国学院大学を5-0で破り、明治神宮野球大会への出場を決めました。  
**最高殊勲選手賞** 岸村祥太郎（4年）  
**ベストナイン** 相本 芳洋（投手・2年）  
 隠善 哲也（一塁手・3年）  
 中村 慎哉（二塁手・3年）  
 岸村祥太郎（三塁手・4年）  
 長嶺 成宏（遊撃手・2年）  
 中武 亮（外野手・4年）  
 深水 辰行（指名打者・3年）



### 最高のチーム結束力 一戦一戦大切に

合後、本塁打を打った中武君がそのボールを母親に渡す姿を見受けました。このような強さもありながら、優しい気持ちを備えた4年生がいることにより、選手間の絆がより強くなっているのではないかと感じました。また、集まった保護者関係者を前に中村主将は挨拶の中で「1日も長く4年生の先輩と野球をしたいです」と話していました。この言葉にチームの結束の強さを確信しました。この類まれな先輩・後輩の強い信頼関係こそ、全国大会への出場の原動力となったのではないだろうかと感じました。

### ● 父子・母子家庭特別支援奨学生制度についてのご案内

本学入学希望の父子・母子家庭を対象とした奨学金制度です。奨学制度の内容は、原則4年間、授業料の50%を減免する制度です。このことにより、意欲ある優秀な学生が、経済的状況で進学機会を失うことなく、本学で学び将来社会で活躍できるように支援することを目的として設置した制度です。 お問い合わせ先 徳山大学入試室 電話 (0834) 28-5302



徳山大学で学ぶ、教養・健康講座  
 ただいま周南地区を中心に1000人以上の方が受講されています。貴方もいかがですか？  
 お問い合わせ先 0834-28-5656